

学年「題材名」	第 1 学年「衣服の手入れをしよう」 B 衣食住の生活 (4) 衣服の選択と手入れ
本時のねらい	衣服の状態に応じた補修 (まつり縫い) ができる。

【授業場面】 前時のまつり縫いを振り返って自分の練習課題を見つけ、改善ポイントを意識しながら縫っている様子を撮影し合うことで、効果的にまつり縫いを修正する。

教師の働きかけ ・発問等 ○活動	生徒の活動 ・発言 ○活動
【前時までの流れ】 小学校で学んだ縫い方を振り返っている。 まつり縫いとこれまで学習してきた縫い方を比べて、まつり縫いの特徴についてまとめている。 動画を視聴して、練習布 1 にまつり縫いをしている。(指導に生かす評価を実施) 【準備物】裁縫セット、練習布 2、教科書	
1 前時の確認をする。 ・ 前回は、小学校で学習した縫い方の復習と、新たにまつり縫いの特徴について勉強しました。まつり縫いの特徴は、何でしたか。 ・ まつり縫いを実際にやってみましたが、どうでしたか。 2 本時の学習課題を確認する。	○ まつり縫いの特徴を振り返る。 ・ 表の縫い目が見えにくい。 ・ スカートやズボンなどの裾を縫うのに適している。 ・ 表側の縫い目が見えないような縫い方をするとよい。 ○ 感想を伝える中で、課題をとらえる。 ・ まっすぐに縫えなかった。 ・ 1 時間では難しい。
【本時の課題】 ・ 「まつり縫い」を習得できるよう、動画を撮影してもらい、修正しよう。	
3 学習の見通しをもつ。 ・ この資料 (まつりぬいの評価ポイント) を見ながら、まつり縫いのポイントを確認しよう。 ・ まつり縫いを習得できるように、自分の練習課題を 1 つ決めてください。	○ 評価ポイントを捉える。 ・ 裏の三つ折りの折り山に斜めに糸をかけて表布をすくう。 ・ 表布は目立たないようにすくう。 ・ 縫い目は等間隔にする。 ・ 表に見える縫い目が一直線になるようにする。 ○ 自分の練習課題を決定する。 ・ 間隔が同じに縫いたい。 ・ 曲がってしまったので、まっすぐに縫いたい。 ・ 縫い目がはっきり見えてしまったので、目立たないようにしたい。
4 各自のタブレット端末で、まつり縫いの動画を再度確認する。	○ 自分の練習課題に視点を絞って再度動画を見る。 (前回の学習時に続いて 2 回目)

	
(開隆堂 p 183、教育図書 p187、東京書籍 P291 にまつり縫い等の動画コンテンツがあるので適宜活用する。)	
5 ペアで、まつり縫いの様子をタブレット端末で録画する。	○互いに動画を撮影する。
	
6 撮影した動画を見せ合いながら、よい点や改善点を伝え合う。その際、4 で確認した動画と比較することを促す。	○動画を見ながらよい点や改善点を伝え合う。
	
7 再度まつり縫いを進める。 ・改善点に気を付け、再度続きからまつり縫いを進めましょう。 ※提出された練習布 2 をもとに記録に残す評価を行う。 8 振り返りを記入する。 ・練習布 1 と比べてください。みんなの成長が分かりますよ。	○気付いたポイントに気を付けて再度まつり縫いを進める。 ・表側に出る縫い目が大きいから、次はすくう布の量を小さくしよう。 ・左手でもっと針を刺す近くを持とう。 ○ 振り返りの記入 ・前は表側に見える糸が多かったけど、今日は、目立たないように小さくすることができた。 ・動画にとってもらうことで、自分の針の動かし方を直しやすかった。

評価規準

・衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解しているとともに、適切にできる。

[知識・技能]